

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,590	2.7	17		125	16.3	118	11.1
30年3月期第1四半期	11,914	0.9	21	40.3	149	1.0	106	32.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 71百万円 (84.3%) 30年3月期第1四半期 453百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.74	
30年3月期第1四半期	15.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,010	13,643	68.2
30年3月期	20,034	13,657	68.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 13,643百万円 30年3月期 13,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				12.00	12.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,300	0.3	20	16.5	140	6.7	110	15.4	15.57
通期	52,000	2.3	220	9.5	430	0.7	300	14.1	42.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	7,261,706 株	30年3月期	7,261,706 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	194,572 株	30年3月期	194,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	7,067,134 株	30年3月期1Q	7,067,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。海外では米国と中国による貿易摩擦や欧州の政治情勢による不確実性の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、水産資源の管理強化や魚介類の世界規模での需要拡大に伴う漁獲量の減少に加え、昨年より続くアニサキス報道による生鮮魚販売の影響など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成29年度から平成31年度まで3ヵ年の中期経営計画「MMプラン4th Stage」の二年目にあたり、「原点回帰からの新たな挑戦」をテーマとして掲げ、神奈川県産地消ブランド品の強化や、グループの再編・合理化を図り、グループ一丸となって目標の達成に向かって邁進しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,590百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ324百万円(△2.7%)の減収となり、営業損失は貸倒引当金の積み増し等の要因により17百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ39百万円(前年同期 営業利益21百万円)、経常利益は125百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ24百万円(△16.3%)それぞれ減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益を53百万円計上したことにより、118百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ11百万円(11.1%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は9,133百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ276百万円(△2.9%)の減収となり、営業損失も67百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ55百万円(前年同期 営業損失12百万円)の減益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は2,369百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ58百万円(△2.4%)の減収となりましたが、営業利益は20百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円(72.8%)の増益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は31百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ9百万円(44.6%)の増収となり、営業利益も22百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ6百万円(46.0%)の増益となりました。

(運送事業)

売上高は55百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円(1.7%)の増収となりましたが、営業利益は3百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2百万円(△39.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、20,010百万円と前連結会計年度末に比べ24百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の増加165百万円、受取手形及び売掛金の減少268百万円、商品及び製品の増加89百万円、破産更生債権等の増加68百万円、固定資産の譲渡等に伴う建物及び構築物(純額)及び土地の減少85百万円によるものであります。

負債は、6,366百万円と前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。この主な要因は、引当金の減少42百万円、その他流動負債の増加94百万円、退職給付に係る負債の減少29百万円、その他固定負債の減少30百万円によるものであります。

純資産は、13,643百万円と前連結会計年度末に比べ13百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の増加33百万円及びその他有価証券評価差額金の減少46百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月18日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460	1,625
受取手形及び売掛金	4,652	4,383
商品及び製品	1,595	1,684
その他	84	102
貸倒引当金	△617	△575
流動資産合計	7,173	7,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,307	1,276
土地	1,765	1,711
リース資産(純額)	61	74
その他(純額)	71	79
有形固定資産合計	3,206	3,141
無形固定資産		
ソフトウェア	84	115
その他	12	12
無形固定資産合計	97	127
投資その他の資産		
投資有価証券	9,490	9,421
長期貸付金	6	6
破産更生債権等	419	488
その他	58	59
貸倒引当金	△416	△455
投資その他の資産合計	9,558	9,520
固定資産合計	12,861	12,790
資産合計	20,034	20,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,029	3,007
未払法人税等	11	51
引当金	53	11
その他	306	400
流動負債合計	3,401	3,470
固定負債		
退職給付に係る負債	589	560
資産除去債務	24	25
繰延税金負債	2,045	2,024
その他	316	286
固定負債合計	2,976	2,895
負債合計	6,377	6,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	376
利益剰余金	7,279	7,313
自己株式	△107	△107
株主資本合計	9,090	9,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,566	4,519
その他の包括利益累計額合計	4,566	4,519
純資産合計	13,657	13,643
負債純資産合計	20,034	20,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,914	11,590
売上原価	11,087	10,762
売上総利益	827	827
販売費及び一般管理費	805	845
営業利益又は営業損失(△)	21	△17
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	125	138
その他	3	2
営業外収益合計	128	143
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	149	125
特別利益		
固定資産売却益	—	53
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	16	53
税金等調整前四半期純利益	165	178
法人税、住民税及び事業税	58	60
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	59	59
四半期純利益	106	118
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	106	118

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	106	118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	△46
その他の包括利益合計	346	△46
四半期包括利益	453	71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	71
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	9,409	2,427	21	55	11,914	—	11,914
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	903	14	8	28	955	△955	—
計	10,313	2,442	30	83	12,870	△955	11,914
セグメント利益又は損失 (△)	△12	11	15	5	19	1	21

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円及びセグメント間取引
消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	9,133	2,369	31	55	11,590	—	11,590
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	888	16	8	28	941	△941	—
計	10,021	2,385	40	84	12,531	△941	11,590
セグメント利益又は損失 (△)	△67	20	22	3	△21	3	△17

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引
引消去4百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。